

県勢主要統計指標

第364号

平成26年（2014年）8月

大分県企画振興部統計調査課

今月の概要

1 大分県の推計人口(平成26年7月1日現在)

県人口	1,172,170人	(対前月 424人減少)
前1ヵ月間の自然動態	270人減少	(出生者数 740人、死亡者数 1,010人)
社会動態	154人減少	(転入者数 2,270人、転出者数 2,424人)

2 県内経済の動向

2-1 主要経済指標の動向

- 1 鉱工業指数 平成26年6月の鉱工業生産指数(季節調整済指数、平成22年=100)は90.3(前月比▲7.8%)となり、2か月ぶりに低下した。
- 2 消費者物価 平成26年6月の大分市消費者物価指数(平成22年=100)は103.6となり、前月に比べて▲0.1%と5か月ぶりに低下した。
- 3 大型小売店販売額 平成26年6月の大型小売店販売額は91億18百万円で、前年同月に比べ全店ベース、既存店ベースともに▲2.7%となり3か月連続で減少した。
- 4 外国貿易 平成26年6月の輸出額は562億58百万円(前年同月比▲22.9%)で4か月連続で減少、輸入額は1,381億95百万円(同▲1.3%)で3か月連続の減少となった。
- 5 公共工事 平成26年7月の県内公共工事請負金額は134億74百万円で、前年同月に比べて24.5%と2か月連続して増加した。
- 6 新設住宅着工 平成26年6月の新設住宅着工戸数は556戸で、前年同月比▲8.4%と2か月連続して減少した。内訳では、分譲住宅は増加したが、持家、貸屋が減少した。
- 7 企業倒産 平成26年7月の県内企業倒産は、件数が1件(前年同月比▲83.3%)、負債総額が74百万円(同▲83.3%)となった。
- 8 職業紹介 平成26年6月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月を0.03ポイント下回り、0.88倍となった。

2-2 景気動向指数(DI)(平成26年5月分)

先行指数	33.3%	(2か月連続して50%を下回った)
一致指数	28.6%	(2か月連続して50%を下回った)
遅行指数	66.7%	(11か月連続して50%を上回った)

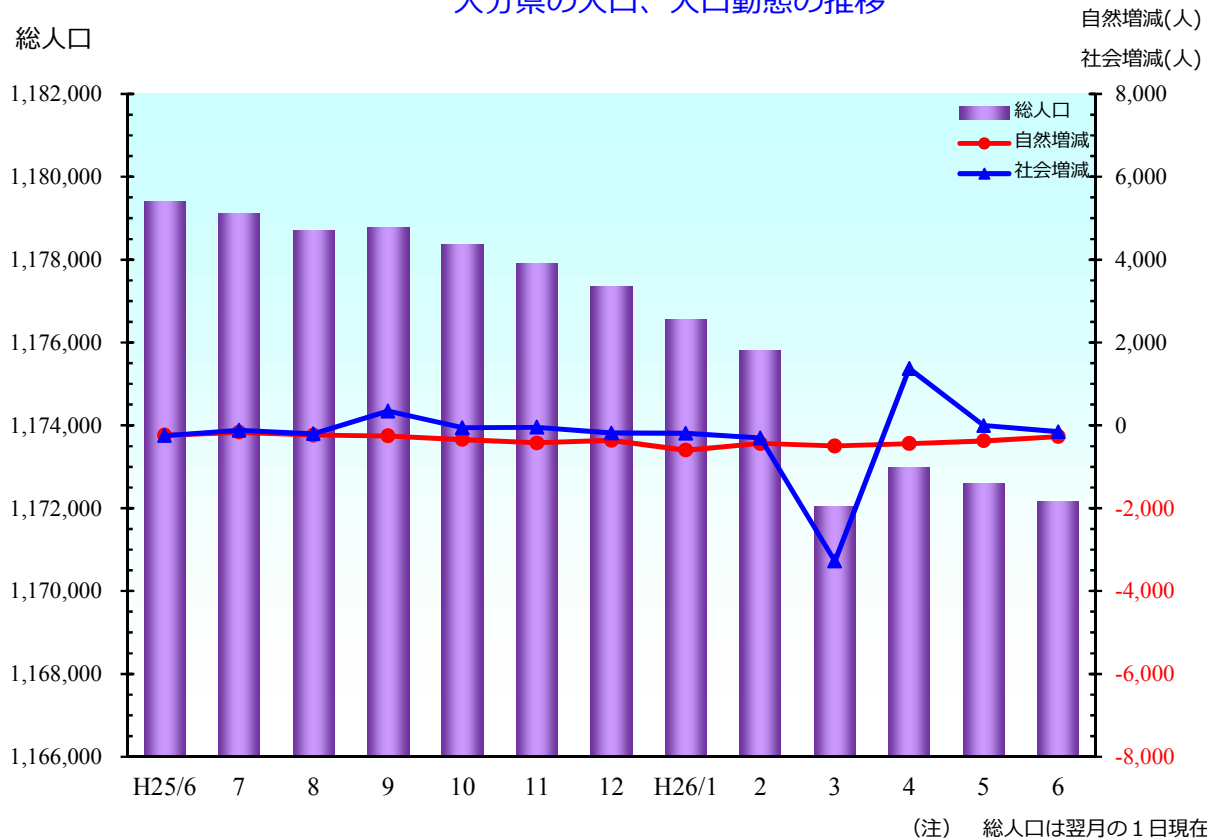
指標一覧・目次

番号	指標名	大分県	全国	頁
1	大分県の推計人口	(平成 26 年 7 月 1 日現在) 1,172,170 人 (前月比 ▲424 人 ▲0.04%) (前年同月比 ▲7,237 人 ▲0.61%)	(平成 26 年 7 月 1 日現在) 1 億 2,710 万人 (前月比 ▲1 万人 ▲0.01%) (前年同月比 ▲24 万人 ▲0.19%)	1
2-1-1	鉱工業指数	(平成 26 年 6 月) 生産指数(季節調整済指数) 90.3 (前月比 ▲7.8%) (原指数 前年同月比 ±0.0%)	(平成 26 年 6 月) 生産指数(季節調整済指数)96.6 (前月比 ▲3.4%) (原指数 前年同月比 + 3.1%)	2
2-1-2	消費者物価	大分市(平成 26 年 6 月) 総合指数 103.6 (前月比 ▲0.1%) (前年同月比 + 3.8%)	(平成 26 年 6 月) 総合指数 103.4 (前月比 ▲0.1%) (前年同月比 + 3.6%)	3
2-1-3	大型小売店販売額	(平成 26 年 6 月) 総額 9,118 百万円 (前年同月比 (全店) ▲2.7%) (前年同月比 (既存店) ▲2.7%)	(平成 26 年 6 月) 総額 1,631,652 百万円 (前年同月比 (全店) ▲1.2%) (前年同月比 (既存店) ▲1.8%)	4
2-1-4	外国貿易	(平成 26 年 6 月) 輸出総額 56,258 百万円 (前年同月比 ▲22.9%) 輸入総額 138,195 百万円 (前年同月比 ▲1.3%)	(平成 26 年 6 月) 輸出総額 5,940,486 百万円 (前年同月比 ▲1.9%) 輸入総額 6,763,689 百万円 (前年同月比 + 8.4%)	5
2-1-5	公共工事	(平成 26 年 7 月) 総額 13,474 百万円 (前年同月比 + 24.5%) (前年度同期比 ▲10.0%)	(平成 26 年 7 月) 総額 1,627,281 百万円 (前年同月比 + 3.5%) (前年度同期比 + 11.4%)	6
2-1-6	新設住宅着工	(平成 26 年 6 月) 着工戸数 556 戸 (前年同月比 ▲ 8.4%) (前年度同期比 ▲14.3%)	(平成 26 年 6 月) 着工戸数 75,757 戸 (前年同月比 ▲ 9.5%) (前年度同期比 ▲ 9.3%)	7
2-1-7	企業倒産	(平成 26 年 7 月) 件数 1 件 (前年同月比 ▲83.3%) 負債総額 74 百万円(同▲83.3%)	(平成 26 年 7 月) 件数 882 件(前年同月比 ▲14.0%) 総額 1,295 億円 (同 ▲35.1%)	8
2-1-8	職業紹介	(平成 26 年 6 月) 有効求人倍率 0.88 倍 (前月差 ▲0.03 ポイント) (前年同月差 + 0.09 ポイント)	(平成 26 年 6 月) 有効求人倍率 1.10 倍 (前月差 + 0.01 ポイント) (前年同月差 + 0.18 ポイント)	9
2-2	景気動向指数 (DI)	(平成 26 年 5 月) 一致指数 28.6% 2 か月連続して 50%を下回った	(平成 26 年 5 月) 一致指数 20.0% 2 か月連続して 50%を下回った	11

1 大分県の推計人口

平成26年7月1日現在の本県の推計総人口は1,172,170人で、前月に比べ424人減少した。前月との増減要因をみると、自然動態で270人の減少、社会動態で154人の減少となっている。

大分県の人口、人口動態の推移



単位：人、世帯

毎月	総人口	1ヵ月間の人口動態							世帯数
		人口増減	自然動態			社会動態			
			出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
H25/6	1,179,407	-487	703	942	-239	2,122	2,370	-248	488,221
7	1,179,126	-281	908	1,073	-165	2,844	2,960	-116	488,409
8	1,178,688	-438	847	1,083	-236	2,723	2,925	-202	488,324
9	1,178,775	87	844	1,101	-257	2,999	2,655	344	490,888
10	1,178,372	-403	844	1,189	-345	2,477	2,535	-58	489,355
11	1,177,900	-472	721	1,145	-424	2,055	2,103	-48	491,391
12	1,177,352	-548	811	1,175	-364	2,066	2,250	-184	493,453
H26/1	1,176,563	-789	886	1,484	-598	2,183	2,374	-191	493,114
2	1,175,821	-742	779	1,218	-439	2,178	2,481	-303	492,865
3	1,172,043	-3,778	740	1,238	-498	7,088	10,368	-3,280	492,696
4	1,172,972	929	765	1,207	-442	6,725	5,354	1,371	494,516
5	1,172,594	-378	762	1,135	-373	2,424	2,429	-5	494,728
6	1,172,170	-424	740	1,010	-270	2,270	2,424	-154	494,884
この1年間の計		-7,237	9,647	14,058	-4,411	38,032	40,858	-2,826	—

注) 人口及び世帯数は、平成22年国勢調査による確定人口及び世帯数を基にした当該月の翌月1日現在の推計値である。

資料：県統計調査課「大分県の人口推計結果【月報】平成26年6月分」

2-1-1 鋳工業指数

平成26年6月の大分県鋳工業生産指数(季節調整済指数)は90.3(前月比▲7.8%)となり、2か月ぶりに低下した。前月に比べ上昇した業種は「窯業・土石製品工業」、「鉄鋼業」の2業種で、低下した業種は「電気・情報通信機械工業」、「パルプ・紙・紙加工品工業」など12業種となっている。

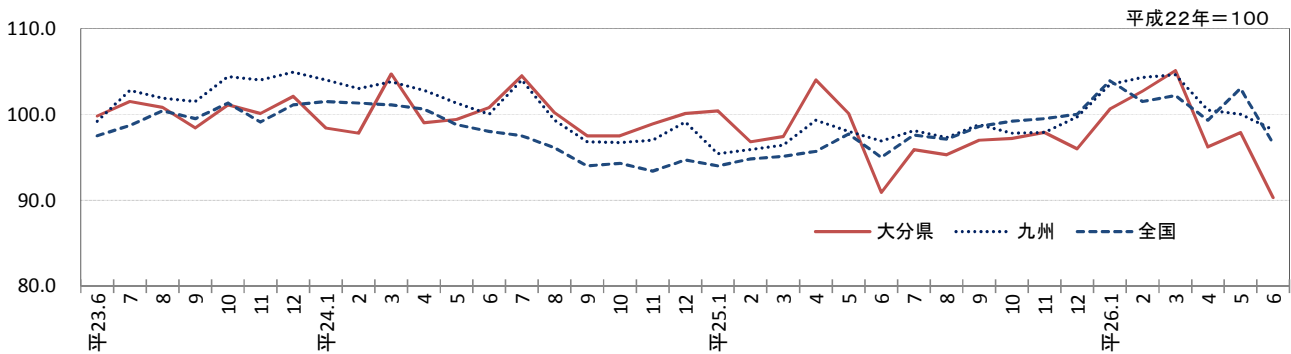
平成22年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比 (%)		前年同月比 (%)
大分県	生産	90.3	▲7.8	96.4	0.0
	出荷	89.3	▲6.8	89.8	▲0.8
	在庫	87.4	▲5.2	86.8	▲18.4
全 国	生産	96.6	▲3.4	100.0	3.1
	出荷	95.2	▲1.9	98.5	2.2
	在庫	110.6	2.0	108.7	2.8
九 州	生産	98.2	▲4.6	99.7	2.9
	出荷	100.8	▲3.6	101.4	2.0
	在庫	116.5	▲1.0	116.0	2.4

※九州は速報値

※九州は速報値 資料：経済産業省「鋳工業生産・出荷・在庫指数確報」、県統計調査課

鋳工業生産指数(季節調整済指数)の推移

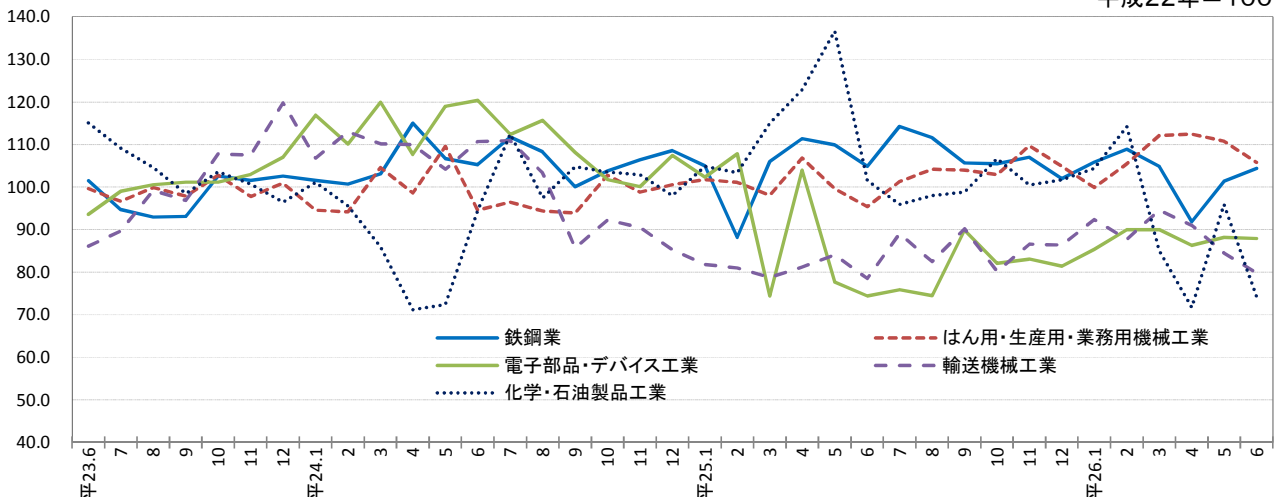


○業種別動向(生産指数)

上昇業種			低下業種		
業種名	前月比(%)	寄与率(%)	業種名	前月比(%)	寄与率(%)
窯業・土石製品工業	20.8	▲11.3	電気・情報通信機械工業	▲40.5	10.7
鉄鋼業	3.0	▲5.2	パルプ・紙・紙加工品工業	▲22.8	4.3
			化学・石油製品工業	▲22.6	43.6

大分県内主要業種の生産指数(季節調整済指数)の推移

平成22年=100



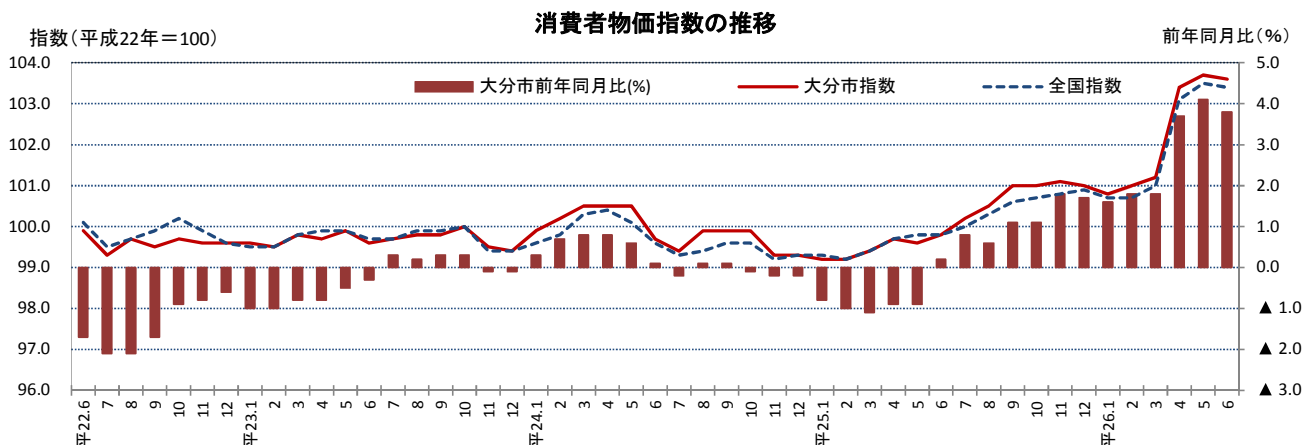
2-1-2 消費者物価

平成26年6月の大分市消費者物価指数は、平成22年を100としたとき103.6となり、前月に比べて0.1%減少した。これを10大費目別にみると、「家具・家事用品」が寝具類の値上がりなどにより1.6%上昇したこと、「食糧」が果物、野菜・海藻の値下がりなどにより0.3%下落したことなどによる。

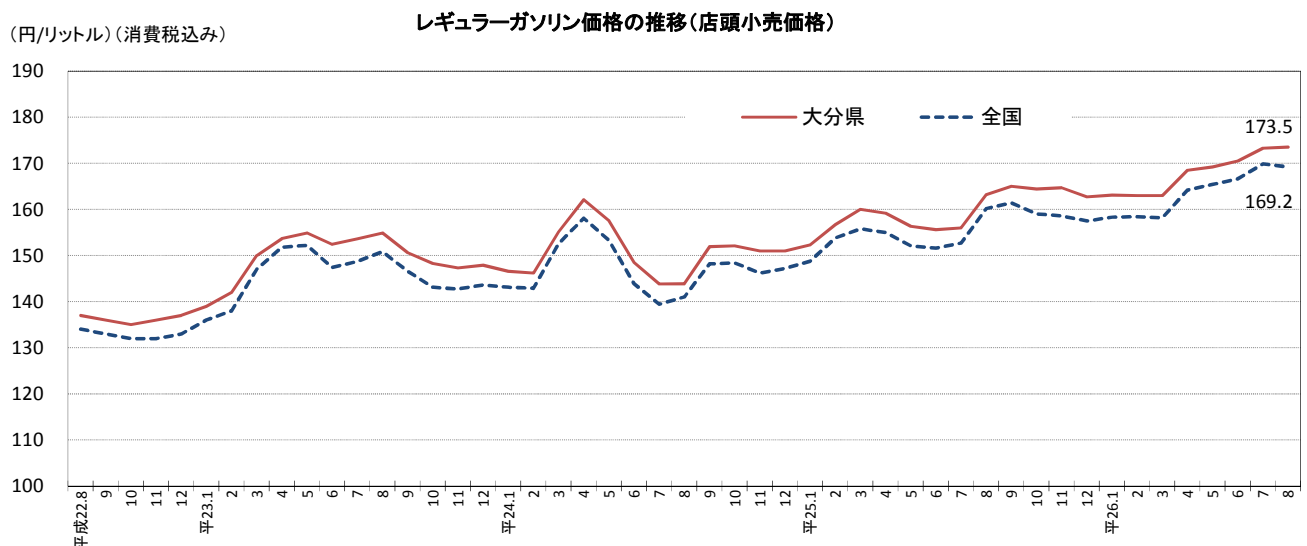
(平成22年=100)

費目	大分市				全国		
	ウェイト	平成26年6月指数	前月比(%)	前年同月比(%)	平成26年6月指数	前月比(%)	前年同月比(%)
総合	10,000	103.6	▲0.1	3.8	103.4	▲0.1	3.6
生鮮食品を除く総合	9,615	103.7	0.0	3.5	103.4	0.0	3.3
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6,727	101.2	▲0.1	2.5	100.6	▲0.1	2.3
食料	2,574	103.2	▲0.3	5.4	103.7	▲0.2	5.1
生鮮食品	385	101.1	▲2.7	11.3	104.2	▲2.0	11.1
住居	2,002	99.1	▲0.3	▲0.2	99.2	0.0	0.1
光熱・水道	662	118.6	0.1	6.3	121.9	0.1	8.1
家具・家事用品	439	94.3	1.6	6.4	94.3	▲0.6	5.1
被服及び履物	448	99.6	▲0.3	2.8	103.1	▲0.4	2.0
保健医療	359	99.7	0.0	2.9	99.5	▲0.1	1.4
交通・通信	1,443	108.7	0.0	3.8	106.3	▲0.2	3.6
教育	269	101.4	0.0	4.2	101.1	0.0	2.3
教養娯楽	1,162	101.3	0.0	4.5	97.8	0.3	4.7
諸雑費	642	109.1	0.0	5.3	109.2	0.0	4.7

資料：総務省「消費者物価指数月報」、県統計調査課



参考：レギュラーガソリン価格の推移(店頭現金価格(消費税込み))



2-1-3 大型小売店販売額

平成 26 年 6 月の県内大型小売店販売額は 91 億 18 百万円、前年同月比は全店ベースで▲2.7%、既存店ベースで▲2.7%といずれも 3 か月連続の減少となった。

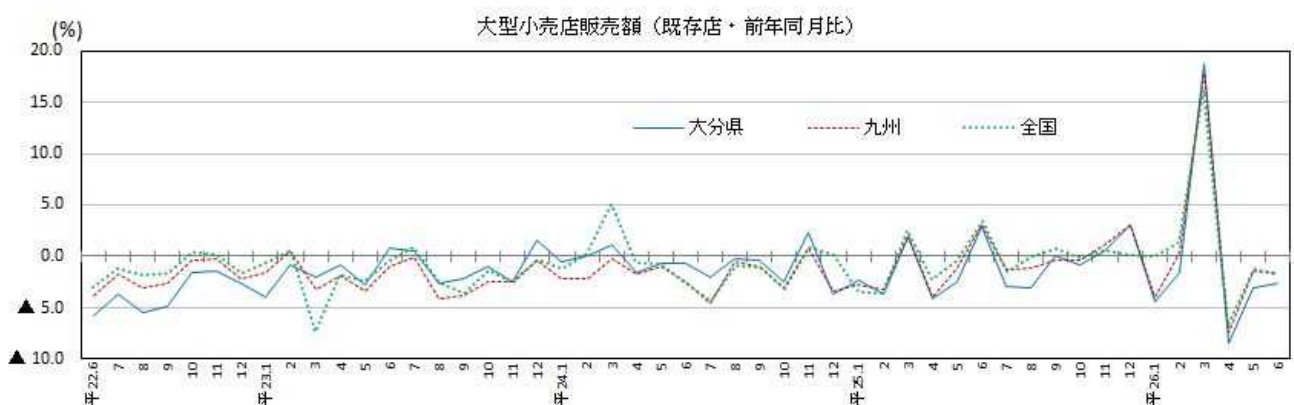
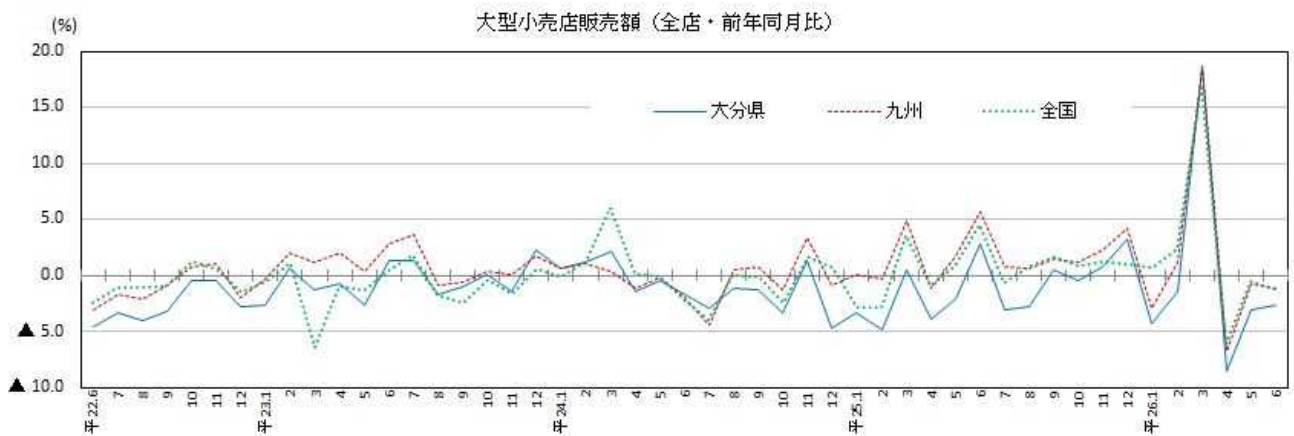
地域別 商品別	大分県			全国		
	百貨店	スーパー	計	百貨店	スーパー	計
	3 店	34 店	37 店	252 店	5,051 店	5,303 店
	販売額 (百万円)	前年同月比 (%)		販売額 (百万円)	前年同月比 (%)	
全 店		既存店	全 店		既存店	
総額	9,118	▲2.7	▲2.7	1,631,652	▲1.2	▲1.8
衣 料 品	2,987	▲6.7	▲6.7	364,614	▲6.3	▲5.3
飲 食 料 品	4,061	1.8	1.8	903,430	2.4	0.9
そ の 他	2,071	▲4.9	▲4.9	363,607	▲4.1	▲4.3

資料：経済産業省「商業販売統計」（平成 26 年 6 月分確報）

注 1：「百貨店」は、注 2 の「スーパー」を除き、売り場面積が特別区及び政令指定都市では 3,000 m²以上、その他の地域では 1,500 m²以上

注 2：「スーパー」は、売り場面積の 50%以上でセルフサービス方式、かつ売り場面積が 1,500 m²以上

注 3：「その他」は、家具、家電、家庭用品、食堂・喫茶など



○ 参考 コンビニエンスストアの動向（平成 26 年 6 月）

九州			全国		
店舗数	4,592 (前年同月比 +2.5%)		店舗数	51,513 (前年同月比 +5.2%)	
商品販売額及びサービス売上高 (百万円)	前年同月比 (%)		商品販売額及びサービス売上高 (百万円)	前年同月比 (%)	
	全店	既存店		全店	既存店
75,196	2.7	▲0.5	868,168	4.9	0.2

資料：経済産業省「商業販売統計」、九州経済産業局「九州コンビニエンス・ストア販売動向」（平成 26 年 6 月分確報）

注：調査対象は一定規模以上のコンビニエンスストアのチェーン企業本部。平成 25 年 1 月分から「九州」は沖縄県を含まない。

2-1-4 外国貿易

平成26年6月の輸出額は562億58百万円（前年同月比▲22.9%）で4か月連続の減少となった。有機化合物、映像機器、銅及び同合金、事務用機器などが減少した。輸入額は1,381億95百万円（同▲1.3%）で3か月連続の減少となった。原油及び粗油、石炭、液化石油ガスなどが減少した。

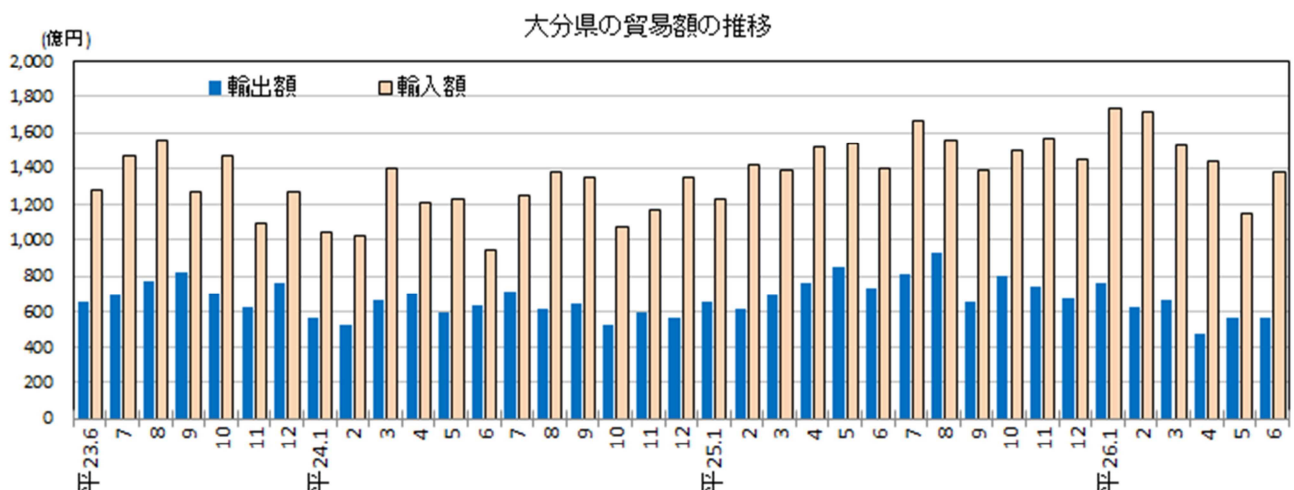
（6月分速報）

（単位：百万円、%）

区分	輸 出				輸 入			
	主要品目等	26年6月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比	主要品目等	26年6月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比
大分県	総額	56,258	▲22.9	▲15.1	総額	138,195	▲1.3	5.3
大分港	有機化合物	5,987	▲60.9	▲38.5	鉄鉱石	30,677	21.1	15.0
	プラスチック	1,068	12.3	31.7	銅鉱	28,670	26.6	22.3
	鉄鋼	23,864	2.7	▲5.9	石炭	15,325	▲20.0	▲7.6
	銅及び同合金	9,481	▲10.0	▲1.4	原油及び粗油	12,437	▲60.2	▲14.2
	事務用機器	5,062	▲13.6	▲5.3	揮発油	12,145	39.4	▲1.8
	映像機器	1,032	▲87.6	▲16.6	液化石油ガス	7,578	▲8.1	10.1
	船舶類	—	全減	▲83.8	液化天然ガス	22,063	29.2	18.9
	計	50,925	▲26.7	▲16.6	計	137,066	▲1.8	5.2
佐伯港	船舶類	4,821	全増	▲0.4	鉄鋼	101	111.4	82.6
	魚介類(鮮魚・冷凍)	—	—	全増	石こう	40	11.7	42.4
	木材	83	308.4	300.7	動物性原材料	28	全増	全増
	木製品	—	全減	全減	魚介類(生鮮・冷凍)	48	62.7	40.0
					木材	—	—	▲2.0
	計	4,904	23,612.8	1.1	計	218	91.8	28.1
津久見港	船舶類	—	全減	21.2	石炭	899	339.0	36.8
	セメント	398	▲3.5	16.0	石油コークス	—	—	4.9
	石灰石	28	6.9	65.1	アルコール飲料	12	▲37.8	▲46.3
	計	429	▲87.4	20.7	計	912	305.3	30.0
大分空港	再輸出品	—	—	—	金属製品	—	—	全減
					一般機械	—	—	全減
					輸送用機器	—	—	全増
	計	—	—	—	計	—	—	▲76.6
全国	総額	5,940,486	▲1.9	3.2	総額	6,763,689	8.4	10.0

資料：財務省「貿易統計（輸出確報；輸入速報）」、大分税関支署「管内貿易概況」（平成26年6月分）

注）「前年同期比」は、暦年（1～12月）累計の比較（増減率）



2-1-5 公共工事

平成26年7月の県内公共工事請負金額は134億74百万円で、前年同月に比べて24.5%の増となり、2か月連続して増加した。発注者別では、独立行政法人等が前年同月比で全増、県が同66.1%、市町村が同37.0%増加したのに対し、国が同▲63.3%、その他の公共的団体が同▲36.7%減少した。

(単位:百万円、%)

項目 発注者	大分県				全国			
	26年 7月	前年 同月比	26年度 累計	前年度 同期比	26年 7月	前年 同月比	26年度 累計	前年度 同期比
総額	13,474	24.5	58,505	▲10.0	1,627,281	3.5	6,283,622	11.4
国	1,316	▲63.3	13,430	▲36.2	298,446	▲19.2	1,087,700	▲8.8
独立行政法人等	1,712	全増	8,089	214.1	118,362	28.2	648,388	9.9
都道府県	4,887	66.1	15,015	▲2.6	430,207	14.7	1,604,955	16.4
市区町村	5,279	37.0	21,009	▲0.3	680,110	2.0	2,518,985	16.5
その他の公共的団体	278	▲36.7	956	▲80.2	100,154	44.8	423,584	32.6

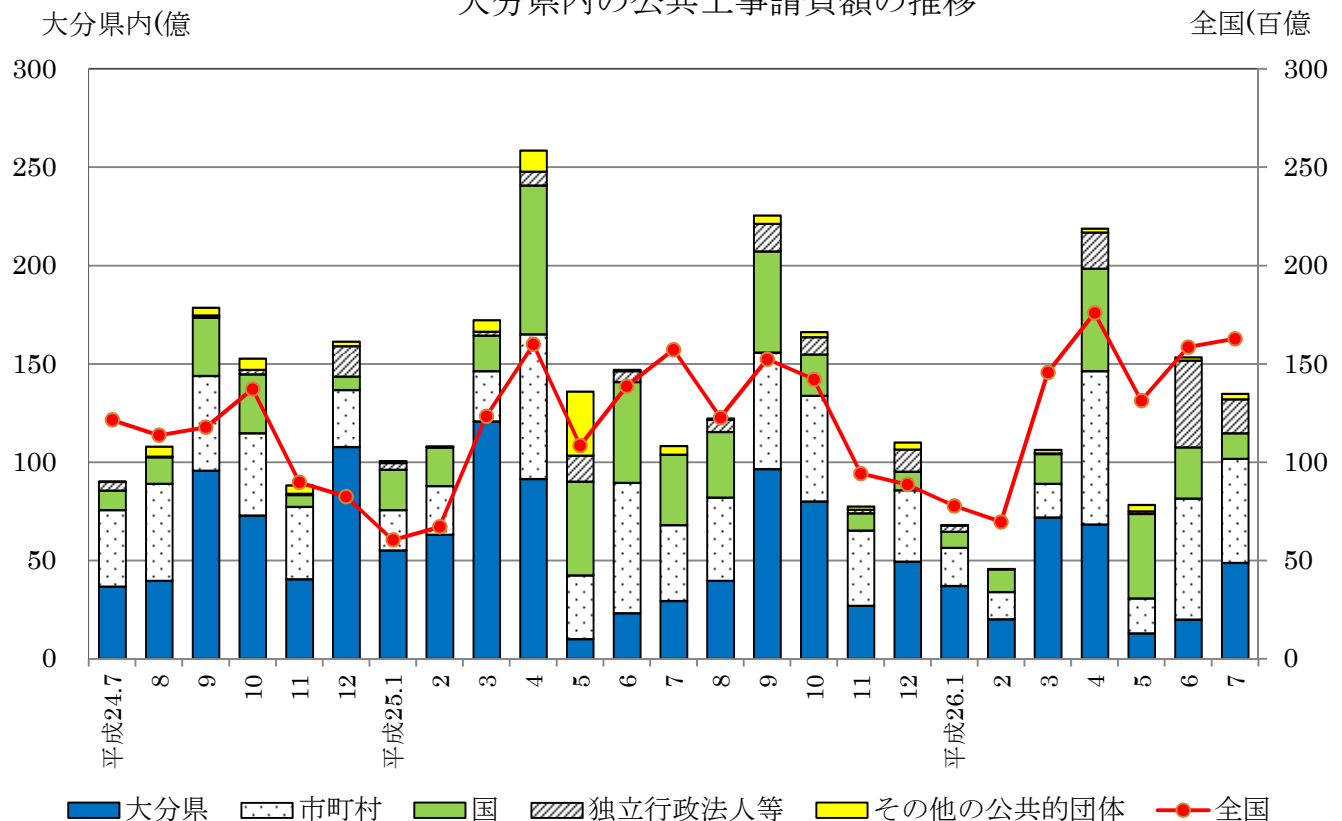
注1:「この統計は、公共工事の前払金保証を集計した業務統計であり、公共工事のほとんどをカバーしている。」(西日本建設業保証株)

注2:「独立行政法人等」には独立行政法人のほか、各高速道路(株)、国立大学法人、大学共同利用機関法人、特殊法人等を含む。

注3:「前年度同期比」は、年度(4月～翌年3月)累計の比較(増減率)

注4:「26年度累計」及び「前年度同期比」は、統計調査課で計算

大分県内の公共工事請負額の推移



2-1-6 新設住宅着工

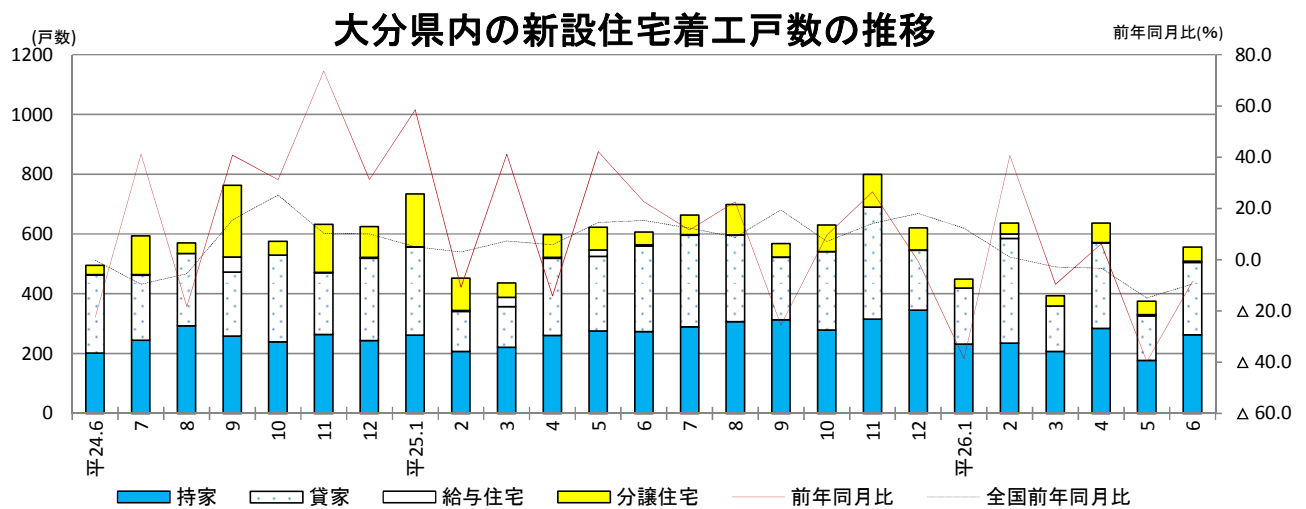
平成26年6月の新設住宅着工戸数は556戸で、前年同月に比べ▲8.4%と2ヵ月連続して減少した。内訳は持家263戸(同▲4.0%)、貸家242戸(同▲15.4%)、分譲住宅47戸(同+9.3%)などであった。

(単位：戸、%)

項目 利用 関係別	大分県				全国			
	26年 6月	前年 同月比	26年度 累計	前年度 同期比	26年 6月	前年 同月比	26年度 累計	前年度 同期比
総数	556	▲8.4	1,567	▲14.3	75,757	▲9.5	218,834	▲9.3
持家	263	▲4.0	724	▲10.7	24,864	▲19.0	70,951	▲19.3
貸家	242	▲15.4	677	▲14.6	31,058	1.8	89,669	5.5
給与住宅	4	0.0	9	▲69.0	420	▲11.0	1,652	49.8
分譲住宅	47	9.3	157	▲19.9	19,415	▲11.9	56,562	▲16.0

資料：国土交通省総合政策局「建築着工統計調査」、県建築住宅課

注：「前年度同期比」は、年度（4月～翌年3月）累計の比較（増減率）



○ 市町村別新設住宅着工戸数（26年6月）

(単位：戸数)

	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	計
大分市	119	187	1	38	345
別府市	16	0	1	4	21
中津市	18	26	0	0	44
日田市	24	8	0	0	32
佐伯市	11	18	0	1	30
臼杵市	5	0	1	3	9
津久見市	3	0	0	0	3
竹田市	5	0	0	0	5
豊後高田市	3	0	0	0	3
杵築市	4	0	0	0	4
宇佐市	18	0	0	1	19
豊後大野市	8	3	0	0	11
由布市	11	0	0	0	11
国東市	6	0	1	0	7
姫島村	0	0	0	0	0
日出町	11	0	0	0	11
九重町	0	0	0	0	0
玖珠町	1	0	0	0	1
県計	263	242	4	47	556

資料：県建築住宅課

注：国土交通省と県建築住宅課発表の数値は、データ読み取り方法により異なる場合がある。

2-1-7 企業倒産

平成26年7月の県内企業倒産は、件数が1件（前年同月比▲83.3%）、負債総額は74百万円（同▲83.3%）となった。業種別では、不動産業が1件であった。原因別では、赤字累積が1件であった。

大分県内企業倒産

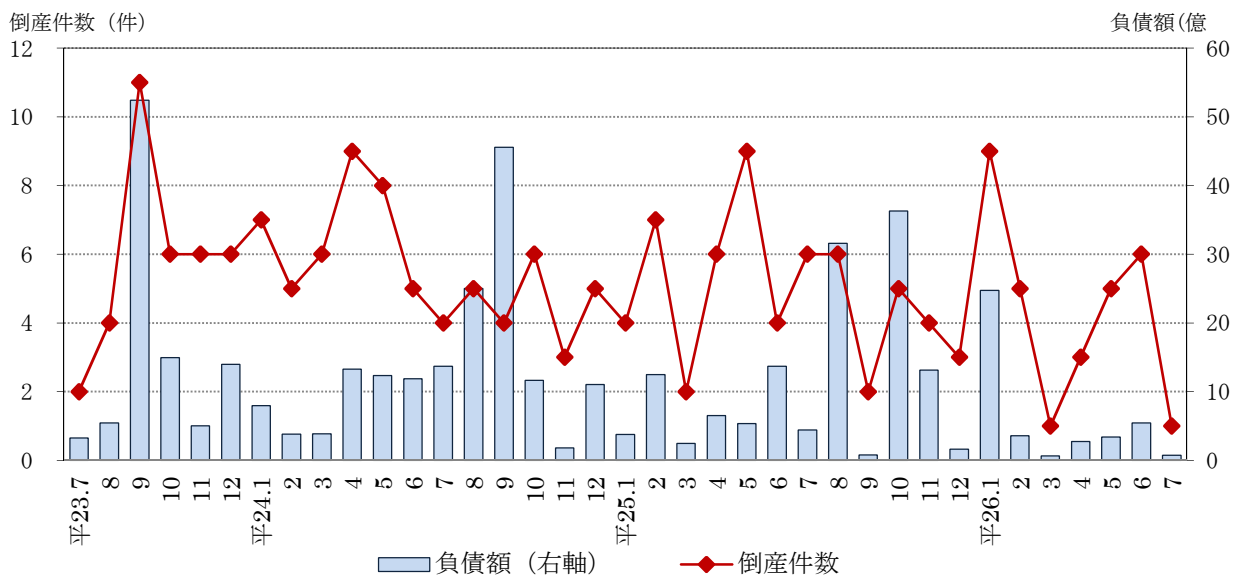
（単位：件、百万円、%）

	倒産 件数	負債 金額	1件当り 負債金額	原因別							
				放漫経営		販売不振		連鎖		その他	
				件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額
21	97	21,012	217	4	294	51	9,175	9	1,809	33	9,734
22	71	9,312	131	4	1,184	37	3,123	4	162	26	4,843
23	66	14,376	218	4	570	22	3,862	1	418	39	9,526
24	67	16,178	241	5	4,973	34	5,710	5	641	23	4,854
25	58	13,216	228	4	3,088	30	3,668	6	442	18	6,018
対前年比	▲13.4	▲18.3	▲5.6	▲20.0	▲37.9	▲11.8	▲35.8	20.0	▲31.0	▲21.7	24.0
25/7	6	444	74	1	44	1	40	1	95	-	-
8	6	3,159	527	1	2,912	2	43	-	-	3	204
9	2	78	39	1	35	1	43	-	-	0	0
10	5	3,628	726	-	-	3	178	-	-	2	3,450
11	4	1,315	329	-	-	1	56	1	11	2	1,248
12	3	160	53	-	-	3	160	-	-	0	0
26/1	9	2,475	275	1	30	3	482	1	35	-	-
2	5	358	72	-	-	2	250	-	-	3	108
3	1	66	66	-	-	-	-	-	-	1	66
4	3	273	91	-	-	1	10	-	-	-	-
5	5	340	68	-	-	3	231	-	-	2	109
6	6	545	91	-	-	1	15	1	56	4	474
7	1	74	74	-	-	-	-	-	-	1	74
対前月比	▲83.3	▲86.4	▲18.5	-	-	▲100.0	▲100.0	▲100.0	▲100.0	▲75.0	▲84.4
対前年同月比	▲83.3	▲83.3	0.0	-	-	▲100.0	▲100.0	▲100.0	▲100.0	-	-

資料：東京商工リサーチ大分支店「大分県企業倒産状況」（負債総額1000万円以上）

注）「対前年比」、「対前月比」及び「対前年同月比」は増減率

大分県内企業倒産件数、負債額の推移



2-1-8 職業紹介

平成26年6月の有効求人倍率（季節調整値）は0.88倍で、前月を0.03ポイント下回った。正社員有効求人倍率（原数値）は0.57倍となり、前年同月を0.09ポイント上回った。

（単位：人、件、倍、%、ポイント）

			大分県			全国		
			26年6月	前月比(差)	前年同月比(差)	26年6月	前月比(差)	前年同月比(差)
一般（新規学卒者を含む） パートタイムを除き	求職	新規求職申込件数	5,822	▲ 3.5	▲ 2.3	483,145	▲ 8.7	▲ 1.7
		月間有効求職者数	24,998	▲ 2.4	▲ 9.4	2,211,063	▲ 3.0	▲ 8.3
	求人	新規求人数	7,660	0.4	4.9	804,167	▲ 0.2	8.1
		月間有効求人数	20,643	▲ 0.5	2.2	2,235,100	0.0	10.1
	求人倍率	新規求人倍率	1.33	▲ 0.09	0.12	1.67	0.03	0.19
		有効求人倍率	0.88	▲ 0.03	0.09	1.10	0.01	0.18
	就職件数		2,625	▲ 0.4	▲ 1.8	178,143	▲ 1.7	▲ 0.7
正社員	常用フルタイム有効求職者数		16,270	▲ 3.1	▲ 13.0	1,501,812	▲ 3.4	▲ 10.8
	正社員新規求人数		3,279	▲ 1.2	8.5	328,190	▲ 0.5	9.2
	正社員有効求人数		9,325	0.4	4.9	941,513	0.6	9.8
	正社員有効求人倍率		0.57	0.02	0.09	0.63	0.03	0.12
	正社員就職件数		1,137	3.8	6.7	75,448	▲ 1.2	1.9

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局

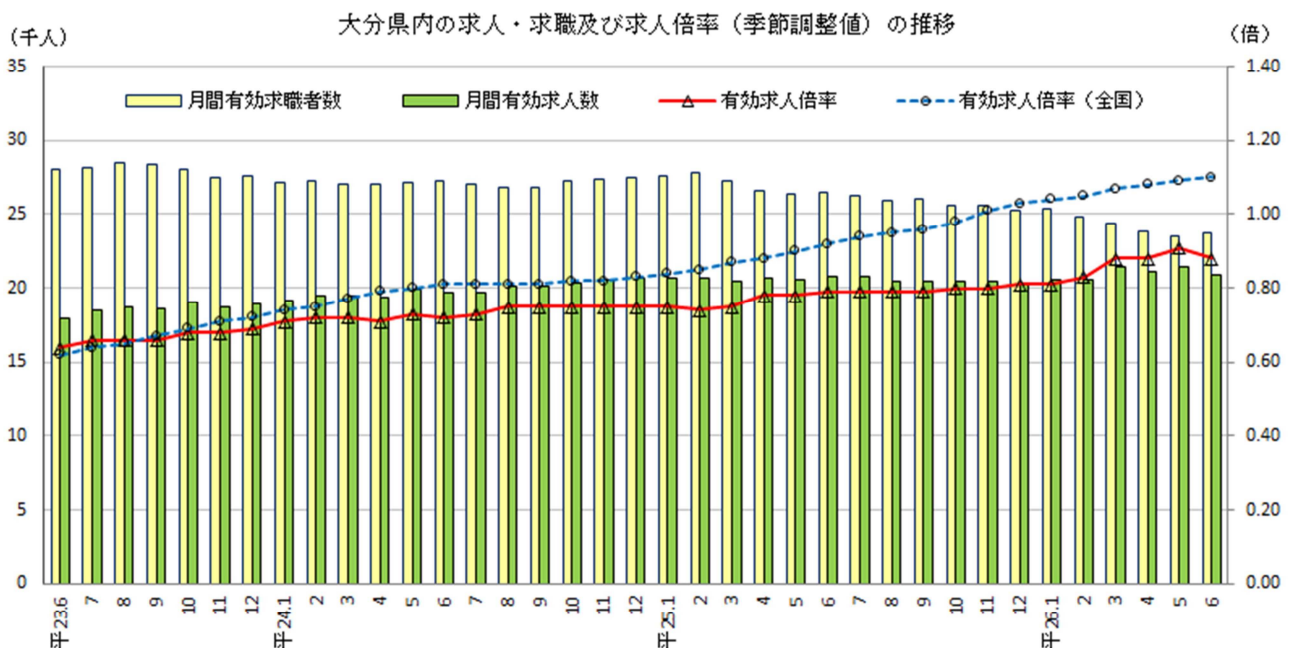
注1：新規求人倍率 = 新規求人数 ÷ 新規求職申込件数

注2：有効求人倍率 = 月間有効求人数 ÷ 月間有効求職者数

注3：「一般」において新規求人倍率・有効求人倍率は「季節調整値」、その他は「原数値」

注4：「正社員」に関する数値はすべて「原数値」

注5：正社員有効求人倍率 = 正社員有効求人数 ÷ 常用フルタイム有効求職者数



安定所別月間有効求人倍率の推移

年度 月	大分	別府	中津	日田	佐伯	宇佐	豊後 大野	大分県 原数値	(単位:倍)		(単位:%)	
									大分県	全 国	完全失業率	
											大分県	全 国
21	0.49	0.40	0.39	0.47	0.56	0.42	0.56	0.46	0.45	4.4	5.1	
22	0.57	0.56	0.52	0.54	0.63	0.69	0.63	0.58	0.56	4.6	5.1	
23	0.64	0.67	0.66	0.64	0.74	0.80	0.86	0.68	0.68	4.1	[4.6]	
24	0.72	0.67	0.72	0.84	0.81	0.83	0.85	0.74	0.82	4.0	4.3	
25	0.81	0.66	0.78	0.93	0.81	0.86	1.05	0.80	0.97	3.8	4.0	

6	0.73	0.62	0.70	0.95	0.74	0.74	0.89	0.73	0.79	0.92	4.0	3.9
7	0.77	0.65	0.75	0.96	0.75	0.80	0.97	0.77	0.79	0.94		3.9
8	0.76	0.66	0.80	1.01	0.75	0.82	1.00	0.77	0.79	0.95	3.4	4.1
9	0.78	0.67	0.80	1.01	0.79	0.88	1.03	0.79	0.79	0.96		4.0
10	0.83	0.68	0.84	0.98	0.82	0.87	1.11	0.83	0.80	0.98		4.0
11	0.83	0.71	0.77	0.92	0.82	0.91	1.17	0.83	0.80	1.01	3.8	3.9
12	0.89	0.72	0.83	0.90	0.88	0.96	1.30	0.87	0.81	1.03		3.7
26.1	0.88	0.72	0.81	0.88	0.90	1.03	1.22	0.87	0.81	1.04		3.7
2	0.92	0.74	0.90	0.92	0.94	1.02	1.16	0.90	0.83	1.05	3.4	3.6
3	0.93	0.74	0.88	0.90	0.93	0.99	1.13	0.90	0.88	1.07		3.6
4	0.87	0.65	0.81	0.79	0.85	0.88	1.05	0.82	0.88	1.08		3.6
5	0.84	0.66	0.82	0.75	0.87	0.85	1.05	0.81	0.91	1.09		3.5
6	0.86	0.66	0.83	0.79	0.91	0.89	1.01	0.83	0.88	1.10		3.7

九州・沖縄八県別有効求人倍率の推移

	(単位:倍)				
	26年6月	26年5月	25年6月	前月差 (ポイント)	前年同月差 (ポイント)
福岡県	0.92	0.94	0.78	▲ 0.02	0.14
佐賀県	0.94	0.92	0.77	0.02	0.17
長崎県	0.86	0.84	0.72	0.02	0.14
熊本県	0.95	0.97	0.84	▲ 0.02	0.11
大分県	0.88	0.91	0.79	▲ 0.03	0.09
宮崎県	0.97	0.94	0.75	0.03	0.22
鹿児島県	0.74	0.76	0.73	▲ 0.02	0.01
沖縄県	0.68	0.63	0.52	0.05	0.16
九州平均	0.87	0.87	0.74	0.00	0.13
全 国	1.10	1.09	0.92	0.01	0.18

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」

注1：有効求人倍率の各年度は原数値。各月は季節調整値。なお、平成25年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

注2：佐伯所は平成19年度以前の旧臼杵所数値を含む。

注3：九州平均は、九州各県の有効求人数(季調値)の合計を有効求職者数(季調値)の合計で除したものである。

注4：完全失業率の推移は年。全国の月分は季節調整値。大分県の期分は、モデル推計値(総務省統計局公表)。

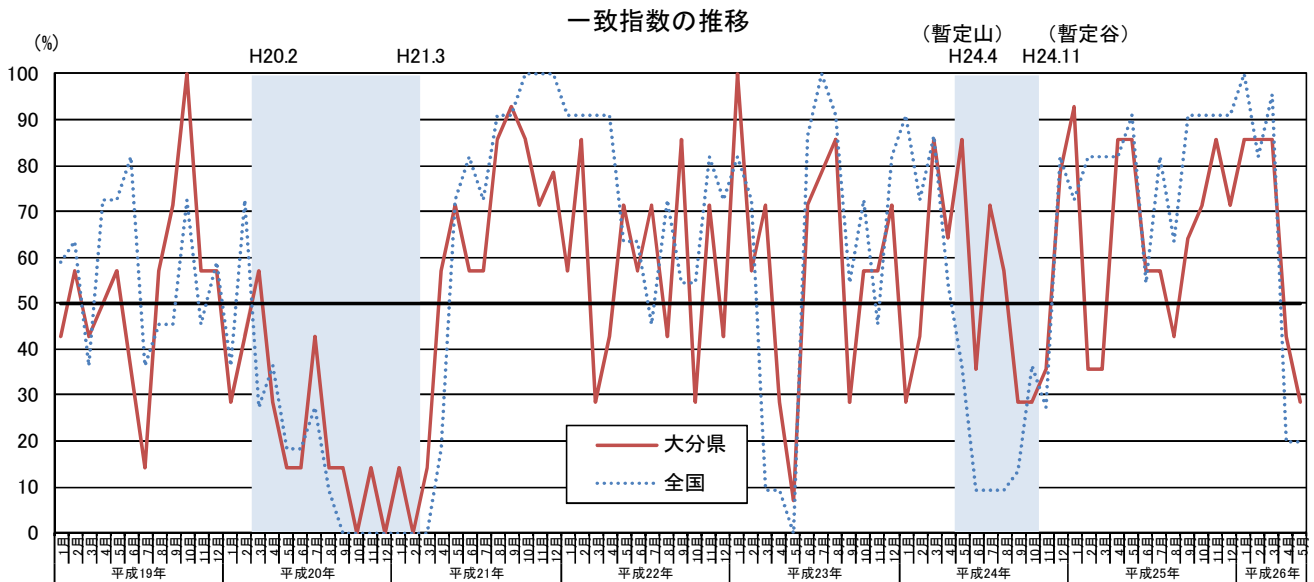
(全国の平成25年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。)

(全国の[]内数値は、補間推計値。)

(大分県の平成25年12月以前のモデル推計値はH26.2.28に遡及改訂されている。)

2-2 景気動向指数

平成26年5月分の大分県景気動向指数(DI)をみると、景気にほぼ一致して動く一致指数は28.6%となり、2か月連続して50%を下回った。景気に対し先行して動く先行指数は33.3%となり、2か月連続して50%を下回った。景気に対し遅れて動く遅行指数は66.7%となり、11か月連続して50%を上回った。



資料：内閣府経済社会総合研究所、県統計調査課

注1：指数が50%を上回る期間は「景気回復・拡大期」、50%を下回る期間は「景気後退期」とみる。

注2：シャドウ部分は景気後退期（内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による）を示す。

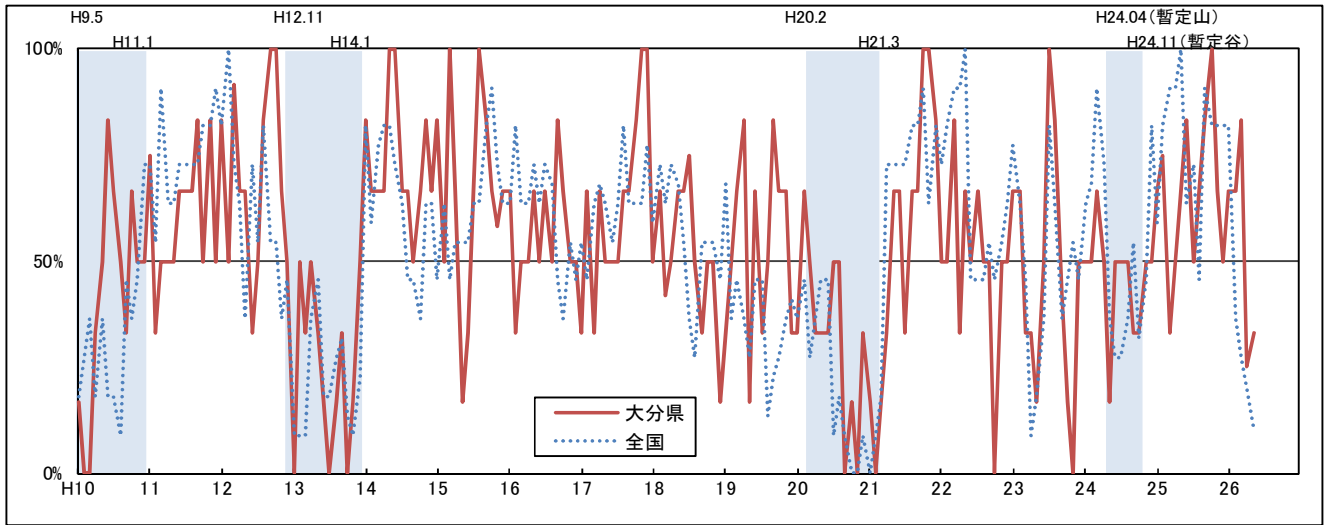
個別指標の動き（平成26年5月分）

プラスの指標	連続月数	マイナスの指標	連続月数
先行系列			
01 新規求人数	1	02 所定外労働時間	1
03 鉱工業在庫率(逆)	1	04 不渡手形発生枚数(逆)	1
		05 雇用保険初回受給者数(逆)	2
		06 日経商品指数(42種)	5
一致系列			
		01 鉱工業生産指数	2
		02 鉱工業出荷指数	2
03 投資財生産指数	3	04 大口電力販売量	1
05 有効求人倍率	8	06 県内新車販売台数	3
		07 県内輸入額	2
遅行系列			
01 有効求職者数(逆)	15		
02 常用雇用指数	11		
03 資本財出荷指数	3		
		04 第3次産業活動指数	1
05 大分市消費者物価指数	13		
		06 法人事業税調定額	3

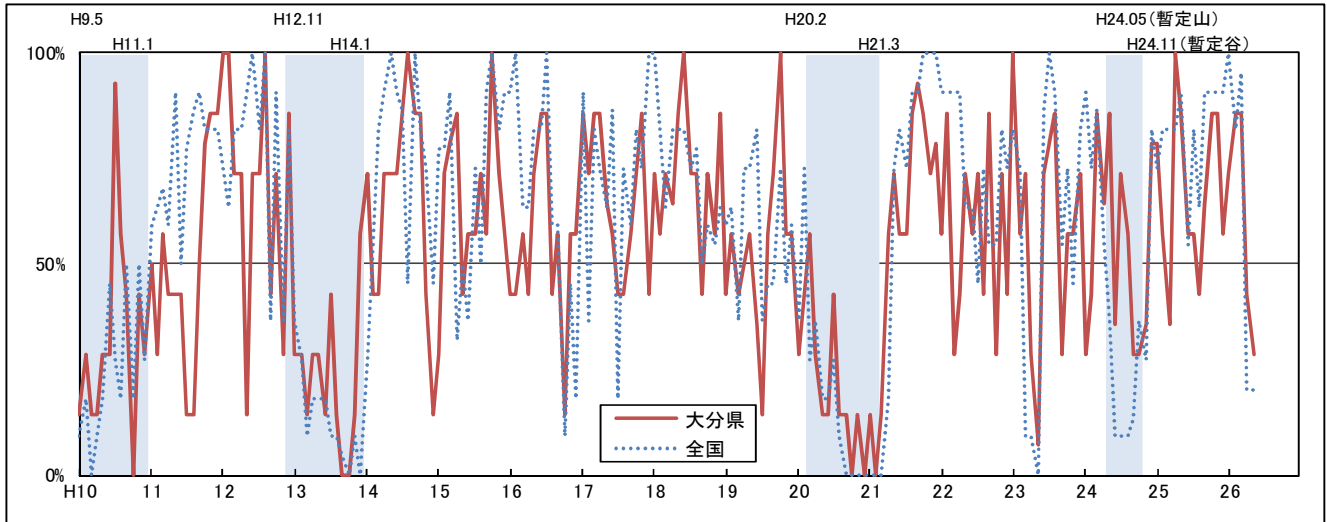
大分県景気動向指数（DI）の動き

平成26年5月

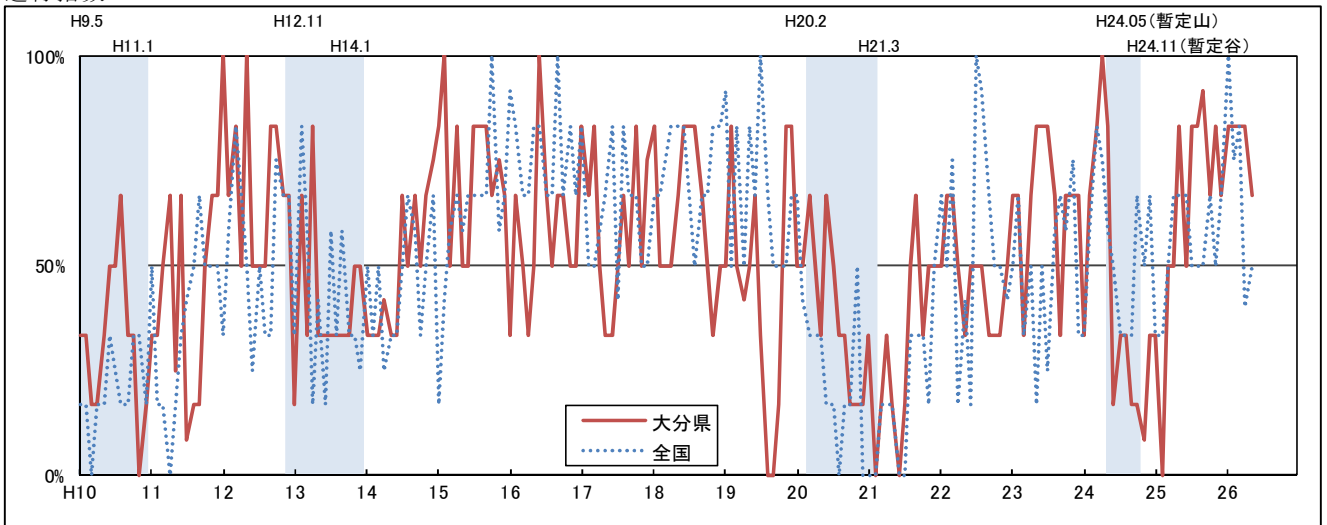
先行指数



一致指数



遅行指数



(注) シャドウ部分は景気後退期（内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による）を示す。

問合せ先

大分県大分市大手町3丁目1番1号（〒870-8501）

大分県企画振興部 統計調査課 統計分析班

電話：(097) 506-2446（直通）

FAX：(097) 506-1727

メール：a10800@pref.oita.lg.jp